

シーズンの秋

堂々優勝

部員一 同喜びに絶えません

ソフト部

堂々優勝

私達の希望の優勝旗を手に致しまして

体壇部

優勝の蔭には男女共學以來
ソフトボール部の存在さへ
も忘れかけられていた中に
あつて、部員一同たゆまざ
一生懸命練習を續ける等選
手の涙ぐましい努力が秘め
られて居るのです。この精
神の努力あつてこそ優勝
といふ名を得る事が出來
るのでせう。さうしてもう一

操部	
國體に大阪代表として高二上野、岡さきんを待つ操部はその活動目ざましく、	優勝 大阪代表として上野靜子、岡佳子さんに決定
以下その成績を述べて見る	近畿對中國大會（八月十四、十五、十六、十七日）
近畿大會（七月卅一日、八月一日）	平均手 第二位（上野）
本校出場者 岡 佳子	徒手 第一位（上野）
上野靜子	大阪府綜合体育大會（九月十八、十九日）
圓體 第一位	圓體 第二位
個人 第一位（上野）	圓體 第一位（上野）
國體大阪豫選（八月十二日、十三日）	個人 第二位（岡）
	第三位（大木）

スポーツデイ

その結果各學年別の成績は

併三	優勝	五組
高一	優勝	六組
高二	優勝	三組

であつた。又永久に残るべき校内選手權の成績を述べて置く。

男子の部
1 自由型五〇米（三
七、七秒）

一 簍 竹谷 (一ノ四)
 2 自由型百米 (一分二
 四、四)
 一 簍 田中 (一ノ一)
 3 自由型二百米 (三分
 七、九)
 一 簍 田中 (一ノ二)
 4 平泳 (百米一分三一
 秒)
 一 簍 泉 (二ノ一)
 5 平泳 (二百米三分二
 二、四)
 一 簍 國本 (一ノ二)
 6 背泳五〇米 (四六、
 一秒)
 一 簍 谷口 (一ノ四)
 女子の部

排球部

ないのは残念だ。剛健快活なる若人よ來れ！(勉強の下らないことを保證する)阿部野送球部の活躍を期して待たれよ！！

前に深くおわび致します。しかし乍ら、來年か、我々の此の希望を充分にかなへる覺悟です。どうぞ御期待下さい。さて現在までの成績は、第二學期中對外試合は四回三勝一敗の成績を獲得しました。

男子 阿高2——1 住吉
大津2——1 阿高

信仰による明るい生活を!!

も多くの者を信仰に導くことにある。そして眞の民主主義を唱へるのがキリスト教以外にはないのである。その點に付て諸君が大いに學ばれんことを切に希望する。入會は男女を問はず、如何なるものをも認める。擧つて入會されんことを、尙講師は諸君がよく御存

年度のクリスマスに府下制高校バイブルクラスの同クラスマス祝賀會を開くのである。この計畫は校及び住高の會員全部が成して居る。

諸君のバイブルクラス對する理解と大いなる援及び擧つて入會されんことを期待する。

ダンス

線にはなやかでない。けれども一生懸命練習し校外総合展覧會をも見學しよりよい書道班を男子として進んで居る。奮つて男の子の方の入班されん事を希望する。

ダンス

ダンスクラブ出来ましてからまだ日が浅い今日先生がお忙がしい事として十分な活動も出来ませう甚だおかしい事と思つて居ります。

すが將來十分發展すべであるダンスクラブがま校内の皆様の深い理解のすにない事を残念に思ひ事。人間の本能として踊事の樂しみはだれにでもる事でせう。唯今はエジト踊りと月の沙漠とをやていますが、今に皆うん上手になるつもりです。う皆様には充分理解をていていただきたいと存じ

歷研部

六月二十四日「靈氣映字」で、茶會を開く。

六日 墳を掘り、

七月一日「英國人の觀た眞の幸福」について小笠先生よりお話をきく

研のバツヂも歌も出來た
來れ！同好の友よ。そ
で共に學び共に歌はう。

心寺

音送放
指さんなどの記
費も戴き設備も漸
揃つて來ました立派
な内容のプログラム

夏山

100

P
T
A
の
欄

力下さいませ
唯残念な事は放送中にも教室内で暴れたり教室のストビーカーをこわしたりする無教養な人が一部ではあるが私達生徒の中に居ると云ふ事です。放送内容につきましてはみなさまでござ御

希望なり御意見を御申し出下さい會計面では非常に困つておりますがなんとか工夫してやつて行きます。教室のストビーカーを可愛がつ下さい。そしてより良い放送部に作り上げませう。
A、H、K

父兄と先生とは平等な立場で同じ力を持つ柱と成つて子供達の幸福のために積福的な方針と共に協力して居てゐるべきで有りまして、それでこそ子供達が幸福にすくすくとのびて行く事が

て、何れの學校、何れのP、T、Hでも、その學校の經營に對する費用の大半を繰出さねばならぬ。大に負債擔の爲に、如何にして事業資金を獲得せんかに疲勞を感して居る現狀であります。斯様な狀態に於て私は到底P、T、Hの、圓滑なるが、亦驚つて考へると、この越大なる學校經費を今直ちに政府當局に要求する事は全く不可能な相狀であつて、教育税に倚る完全なる學校教育の實施は、將來の課題として、當分は我々父兄の共同の責任に於て、亦P、T、Hの主要目的ではないが、その事業の一部門

會員の皆様に

[illegible]

と家庭と社會がそ

行へたのですと云ふが、今迄の狀態をみますと子供達を敎育する家庭、學校社會の三つがお互ひにバラバラに成つていて少しも密接な連絡を持つておらず従つて子供達の教育に對して充分に實を結ぶ事が出来なかつたのです。然し決して子供の教

に對して父兄は無關心で責任を分擔し、協力して生徒の爲にその福祉を増進したいもの教育を推進しようといふ處に立派な目的のもとに誕生したのであります。

然るにその運営の實際面に於けるは、種々なる矛盾が生じて理論的に、理想的な經營が如何に困難であるかを痛感いたしましたのでありま

ぬ事が判明したので、去る九月廿二日、學校側並に委員、學級委員會の連合協議會を開催して、會員倍加運動を展開する事に一致し、更に廿五日學級集會を開いて上述の委員を地區委員(俱稱)として、倍加運動に参加して戴くや御願ひし、又一人名入會の御家來

本校の目的の爲に充分な

まかせにして居ました。従つて總ては學校側からの提案で有つて父兄はたゞ受身の立場にあつたのであります。勿論子供教育は専門家の先生にある程度おまかせするのが當然でありまして教育内容にあれこれと干渉する事は絶対にいけません。しかし又こゝに子供の教育は親戚に向つて、推進せられてゐるかを反省する時には、私は洵に内心忸怍たるものがあるのでもあります。勿論P、T、H運営に對する憤みは本校から見でなく、事情こそ違へ他校ともほぼ共通の苦澁を嘗めて居るのであります。

見ます。四、國民の學習主

名乃至四名の御加入を懇請する様お願ひして散會いたしましたので有ります。

時局相各御家庭に於かれても何かご出費の嵩む砌、洵に恐縮とは存じますが、學校並にP、T、Aに對する深い御理解と御後援の思召を以て、會員倍加運動達成の爲、二の倍加運動達

情勢に於ては、この

易天所天